

## 新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

旧年中は、多大なるご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ろう者にとって大変重要である、手話に関する施策を推進する法律(手話施策推進法)が6月18日に全会一致で成立し、同月25日に公布、施行されました。当センターにおきましても、この法の履行と聴覚障がい者への理解促進を求め、今後とも各関係機関に働きかけを行ってまいります。

また、11月に開催された東京2025デフリンピックでは、女子バスケットボール日本代表が見事優勝し、金メダルを獲得しました。そのメンバーとして活躍された鯖江市出身の丸山香織選手の、さらなるご活躍をお祈り申し上げます。

本年も皆様のご期待に沿えるよう、職員一同、誠心誠意努めてまいりますので、変わらぬご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

※丸山香織さんは、令和6年10月UPの当協会制作動画「いこっせ！デフワールド」に出演し、大会に向けての思いを熱く語ってくださっています。まだご覧になっていない方はぜひご視聴ください。



(福)福井県聴覚障がい者協会 理事長 村上 健

## 社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会との包括連携協定に関する調印式について



令和7年10月29日(水)、敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」に於いて、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会と社会福祉法人福井県聴覚障がい者協会との包括連携協定に関する調印式が執り行われました。

京都からは志藤理事長、近藤専務理事、福井県からは村上理事長、福井県ろうあ協会 遊津会長が登壇し、いこいの村聴覚言語障害センター 内川所長の司会により滞りなく進行しました。本協定により、両府県の交流や情報の共有等が進み、職員のスキルアップ、ひいてはろう者の福祉向上につながる、地域を超えた聴覚障害福祉の持続可能な発展のモデル

ケースとなることを目指します。

※現在、京都聴覚言語障害者福祉協会の運営する「いこいの村」では、嶺南地域在住の高齢ろう者を対象に介護保険サービスによるショートステイの利用(送迎付)を受付けています。詳細につきましては、地域の包括支援センターまたはいこいの村聴覚言語障害センターにお問い合わせください。

【いこいの村聴覚言語障害センター TEL(0773)46-0101 FAX(0773)46-0610】

(いこいの村は、ろう者が自らの言語である手話を使って暮らすことのできる施設です)

耳の日記念フェスティバル2026を開催します。

## 耳の日記念フェスティバル2026



手話言語通訳・  
要約筆記が  
付きます

入場無料  
定員300名  
(先着順)

スケジュール ※一部内容が変更になる場合もございます。

12:00~ 受付  
12:50~ 開会挨拶  
13:00~ 上映会 ※上映会は 15:00 まで  
15:10~ トークショー  
ゲスト：谷進一 監督、尾中友哉 氏  
(高橋潔役)  
16:00 終了予定



# 2026.2.28 [土]



フェニックス・プラザ 2階 小ホール  
福井市田原1丁目13-6

### 参加方法

右記の二次元コードから  
お申し込みください



・二次元コードからの申し込みが難しい方は、別紙の申込書を使用してください。  
・参加をご希望の場合は事前にお申し込みください。  
・お申込のない方も参加いただけます。

【障害者手帳をお持ちの方へ】

駐車場利用の場合、駐車券を事務所に持っていくと無料になります。

主催／社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会

後援(案)／福井県、福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、福井ライオンズクラブ

お申し込み  
お問い合わせ

社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会 〒910-0026 福井市光陽2-3-22 福井県社会福祉センター2F  
TEL/0776-63-5572 FAX/0776-63-6692 HP/<https://www.fukui-deaf.jp/> E-mail/[info@fukui-deaf.jp](mailto:info@fukui-deaf.jp)



## 奥越地区ふくみみサロンを開催しました

11月18日(火)、奥越地区ふくみみサロンを開催し、9名(ろう者6名)が参加してくださいました。はたや記念館 ゆめおーれ勝山にて手織り体験・施設見学をした後、勝山サンプラザへ移動し、2階のイベントホールで会話を楽しみました。



## ふくみみサロン企画(フラワーアレンジメント体験教室)を開催しました

11月28日(金)、ふくみみサロン企画(フラワーアレンジメント体験教室)を開催しました。20名が参加くださり、講師の説明に手話通訳を付け、楽しく体験しました。カーネーション・ユウカリなどの花材を使い、バランスを考えながらオアシスに刺したり、卵型オブジェに顔を描いたり。それぞれの個性とセンスが光る素敵な作品が完成しました。



## 福井県手話通訳士養成研修会(ステップアップ)を開催しました

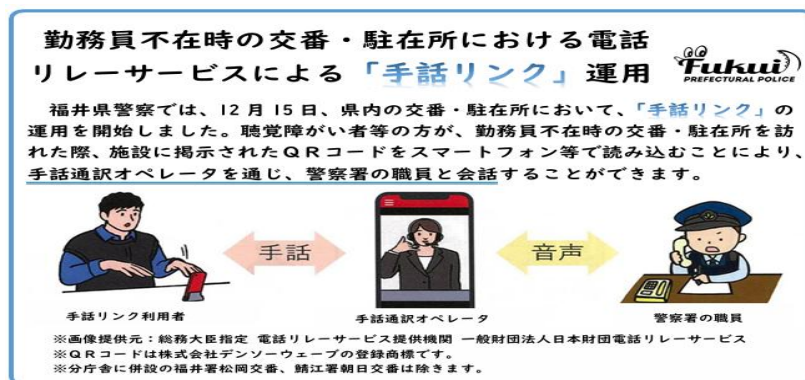
11月3日(月・祝)、11月24日(月・祝)に福井県社会福祉センターにて福井県手話通訳士養成研修会(ステップアップ)を追加で開催し、県に登録されている手話通訳者約20名が参加しました。3日(月・祝)は、国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科 教官 江原こう平氏をお招きして「読み取り通訳技術～手話と日本語の違いを意識して～」をテーマに、24日(月・祝)は、県内講師として手話通訳士 杉浦公美氏より「現場で役立つ手話通訳(聞き取り)のポイント Part2」をテーマに、講義をいただきました。大変有意義な内容となりました。



## 警官不在時の交番・駐在所における電話リレーサービス「手話リンク」運用

福井県警察では、令和7年12月15日より県内の交番・駐在所において「手話リンク」の運用を開始しました。手話を使用する方が勤務員不在時の交番・駐在所を訪れた際、交番、駐在所の窓口に掲示されたQRコードをスマートフォン等で読み込むことにより、手話通訳オペレーターを通じ、警察署の職員と会話することができます。※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※「手話リンク」の利用には「電話リレーサービス」の契約は不要です。但し、勤務員不在の交番・駐在所から警察署に連絡する場合にのみ利用可能です。



## 聴覚障がい者に配慮した赤色灯の発光パターン「ホタル」

これまで、パトカーの赤色灯は緊急走行時もパトロール走行時も同じ光り方で、サイレン吹鳴の有無で違いを表現しており、聴覚障がい者にとって区別ができませんでした。新型の赤色灯は、聴覚障がい者に配慮した新しい発光パターンの赤色灯(散光式警光灯)になります。パトロール時は、ホタルの光(2秒周期でぼんやりと発光)のような発光パターンにすることで、聴覚障がい者はもちろん、その他の住民の方々にも区別しやすくなりました。福井県では、令和6年秋ごろから数台の導入が始まり、今後少しずつ配備が進みます。

発光パターンの違いで緊急自動車の状態がひと目でわかる  
 ～見て識別できるので聴覚障がい者にもやさしい～



## 東京2025デフリンピック 女子バスケットボール丸山香織選手が栄誉賞受賞!

デフリンピック東京大会のバスケットボール女子で初の金メダルに輝いた日本代表の丸山香織選手が、この度地元の鯖江市よりスポーツ栄誉賞を授与されました。また、県からは県栄誉賞を授与されることが決定しました。丸山選手の活躍、最後の最後まで諦めない姿、そして素晴らしいチームプレーは、私たちに勇気と感動を与えてくれました。丸山さんの今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

